



# 阿達君の日記 6月号



6月になりました。暑いが続いております。魚沼市最高気温35度なんて日もあり、本当に6月?というような気候です。ですがもうすぐ梅雨に入るのかなあと感じます。梅雨になると百足やゲジゲジ虫などがどこからともなく現れて嫌な時期です。

5月中は「田植え体験」が3回、「笹団子作り・わらび採り体験」が1回ありました。どの企画も大勢のお客様から盛り上げていただき本当にありがとうございました。

田植え体験ですが、3週ともお天気に恵まれた田植えとなりました。昨年は見事に3週とも雨だったことを覚えています。今年で19年目の田植え体験となります。参加されたお客様は子供から大人まで本当に一生懸命植えてきれいな仕上がりとなっております。田植えに必要な杵という道具ですが毎年使っていますと少しずつ壊れてきます。そこで知り合いに声をかけて、杵を探してもらったら、なんと5台も杵が届きました。ありがたいです。大事に使わせていただきます。玄関周りが杵だらけといった状態です。((笑))

魚沼も含め米の高騰がなぜ起こったのか?聞いた話によると「米の作付け量の報告数字が全然あっていない」「お米の値段が安く、農家さんが厳しい状態」ということから、国とJA農協がお米の値段を上げる策略という話も聞きます。正解はわかりませんが、お米の値段が以前は安すぎたというのは、農家さんにとって深刻問題と感じます。値段が上がるのは致し方ないと納得できますが、急に倍も値段が上がるとさすがに、購入をためらいます。安い米を探しますよね。日本の食卓に、なくてはならないお米です。もう少し消費者の気持ちも考えてほしいですよね。お米の話をするとう長くなりますが、お米を作るのに必要な機械の値段が高く(20000万円)、個人では所有できないのが現代農業です。だからお米の値段が高くなるのも無理はない話だと理解しましょう。

笹団子わらび採り体験ですが、こちらは平日企画ですので、丁度よい年齢層で楽しく過ごしました。はっきり言っておばちゃま達と一緒に過ごすのは、ものすごいエネルギーを使うことを改めて感じました。実は日本のエネルギー源はおばちゃまパワーではないのでしょうか((((笑))))

\*堀之内にある「永林寺」というお寺の豆菓子に面白い言葉がありましたので、紹介します。○今の若いお母さんの得意料理は「お母さんやすめ」というメニューではないでしょうか。

「か」カレーライス 「さん」サンドウィッチ 「や」焼きそば  
「す」スパゲッチー 「め」めん類 これらはワンパターン料理といえます。なんて言葉がありました。けして簡単ではありませんが、なんとなくイメージは簡単料理ですよね。なるほど、忙しいお母さんは休むためにこのメニューを作るという意味ですね。響く人には響くのではないのでしょうか。

